

施工段階		下地・間仕切り		6	設備工事：			シート番号	
電気	空調	衛生	その他		換気・エアバランス			6-7	
-	○	-	-						

ポイント

■建物の中の空気の流れを把握しよう

- ・換気は室内空気の浄化、熱や水蒸気の排除、酸素の供給などの目的を持っています。
- ・換気範囲には全般と局所、換気方法は自然と機械（第1、2、3種換気）があり、運転方法にも連続か間欠があり、多種多様です。
- ・設計図から建物の中の構造と部屋毎の換気風量を確認して空気の流れを把握します。
- ・法定換気設備では確認申請書の換気計算書を確認します。
- ・医療施設やクリーンルームにおける陽圧管理やR1施設における陰圧管理など、施設の目的に応じて室圧の要求の確認を行います。
- ・外壁ガラリやドアガラリ、天井チャンバーなど、建築工事との取り合いが必要となります。
- ・24時間換気や局所排気など、運転方法や様々な換気機器の組み合わせと運転状況を検証します。
- ・ドラフトや風切り音、ショートサーキット、音漏れなど、多くの注意事項があります。

先輩アドバイス

- ・換気の意味を理解したうえで、換気量の収支と空気の流れを現したエアバランスシートでバランスが取れているか確認しましょう。
- ・換気の実績品質について、施工計画時点で建築担当者と合意形成しましょう。
- ・ドアガラリやアンダーカット、建具廻りや内装仕上げの隙間の管理などについてしっかり連携しましょう。
- ・計測器具が校正期間内であるか確認しましょう。



携帯型風速計

チェック項目

- 給気と排気（制気口、ガラリ、バンドキャップ等）の位置関係、離隔距離は確認しましたか。
- ドアガラリやアンダーカットなど建築取り合いは確認しましたか。
- 設計条件に適合する検査環境が整っていますか。
- 換気量は正確に計測、記録を行いましたか。



スモークテスト

失敗すると...

- ・風切り音や隙間風、臭気や水蒸気の流出などの不具合が発生します。
- ・ドアガラリなどを忘れると給気ルートが無いなどの換気不良が発生します。
- ・法定換気量が確保できずに完成検査に合格にしない恐れがあります。
- ・思わぬ隙間の存在で、陽圧や陰圧などの室圧管理が成立しない恐れがあります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		-	-	○	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：(株)日本カノマックス、(株)ガステック						改訂		